

公立大学法人島根県立大学の各事業年度の年度評価実施要領の概要

1. 法人による自己点検・評価及び業務実績報告書の作成

(項目別評価) 業務実績報告書に記載。

中期目標				
中期計画	年度計画	計画の実施状況及び評価の判断理由	ウエイト	評点
××××	を実施する。まで実施できなかった。	1	1
	××を検討する。を検討したが、不十分だった。	1	2
を行う。を行い、計画以上の成果を得た。	2	5
	を図る。を図り、一定の成果が上がった。	1	4

評点の基準(5段階評点)

年度評価項目別評価における各項目別評点の平均値	評点
年度計画を上回って実施している。(計画を完全に実施し、特に顕著な成果が得られたと判断できる場合)	5
年度計画を十分に実施している。(進捗度が概ね9割以上)	4
年度計画を概ね実施している。(進捗度が概ね7割以上9割未満)	3
年度計画を十分には実施していない。(進捗度が概ね5割以上7割未満)	2
年度計画を大幅に下回っている。(進捗度が概ね5割未満)	1

2. 評価委員会による調査・分析・評価

(1) 法人の項目別評価を検証。 法人からのヒアリング等により調査、分析。

(2) 年度計画の評価(評点)が確定したら、中期目標項目別評価を行う。

中期目標項目	評定
新たな大学構想の確立と実現に向けた取り組み	C
自主的、自律的な組織運営体制の確立	A A
評価制度の構築及び情報公開の推進	B
その他業務運営に関する重要事項	A

評価の基準(5段階評定)

年度評価項目別評価における各項目別評点の平均値 (法人が設定したウエイトを各評点に乗じたものの平均値)	評定
4.3 ~	A A
3.5 ~ 4.2	A
2.7 ~ 3.4	B
1.9 ~ 2.6	C
~ 1.8	D

大学入学者選抜における調査書作成に係る5段階評定基準を準用。

「教育研究等の質の向上」に関する評価

教育研究等の質の向上に関する評価については、教育研究の特性に配慮して次のとおり行う。

- ・ 5段階評価は行わない。
- ・ 法人の作成した業務実績報告書の記載内容を検証し、客観的・外形的な取り組み状況について特筆すべき点又は遅れている点を等を示す。

教育研究等の質の向上	1. 〇〇〇は特筆すべき状況にあり、今後の取り組みを大いに期待する。 ----- 2. ×××の取り組みは遅れており、このままでは中期目標の達成ができなくなることが危惧される。
------------	--

(3) 中期目標項目別評価を踏まえ、記述式により全体評価を行う。

全体評価	年度における業務の進捗状況については、中期目標の各目標の進捗が……であると判断されることから、……であると考え る。 特に、……については、法人化のメリットを大いに活かした取り組みとして高く評価するものである。
------	---

積極的に評価する事項

- (ア) 理事長のリーダーシップの下、機動的・戦略的な大学運営を目指した取り組み
- (イ) 他大学の模範となる又は中期目標・中期計画で想定した以上の成果が上げられた取り組み
- (ウ) 県民や社会に対する説明責任を重視し、社会に開かれた大学運営を目指した取り組み

(4) 中期目標項目別評価(案)及び全体評価(案)について法人に意見申立て機会を付与する。

(5) 最終評価として確定したものを法人に通知するとともに、知事に報告。また、評価結果を県ホームページ上で公表する。